

私たちの町内会の一年



Spring



Winter



Summer



Autumn



町内会を再発見!!

町内会長・副会長へのインタビュー冊子をつくるにあたって

「町内会」とひとくりにいっても、なり立ち、歴史、環境がそれぞれ違って、創り手の思いの数だけ、活動は多様で、自由です。

でも知られていない町内会の個性。「どんな人がやっているの?」「町内会? たいへんそう……」、こうした疑問や想像が話題になるのを見聞きするたびに、地域のために動いている人たちを知ってほしいとの思いが強くなりました。町内会に深く関わる人たちだからこそ本音、自慢、悩み、そしてわがまちへの深い愛情をぜひ紹介したい。そして、主体的で自由なコミュニティ・町内会に興味をもってもらいたいと思い、この冊子を作成しました。

長い人生の時間を過ごす自分のまちを心地よく楽しくするのは自分たち次第。会長たちとじっくり「町内会って、なんだべな」と考えていただくきっかけになれば幸いです。

このまちの主演は、あなた。

制作・お問い合わせ

南平岸地区町内会連合会

豊平区平岸2条14丁目1-26南平岸会館内
TEL.011-814-1440 FAX.011-814-8523
URL.<http://minamihiragishi.jp/index.html>



2021年3月制作
※情報や役職などは2021年1月現在のデータです
似顔絵イラスト協力:小林亮太郎さん(さっぽろ天神山アートスタジオ)
聞き手・編集:橋本さおり(南平岸地区町内会連合会事務局)

いろいろな人がいていいところ



気兼ねなく頼りあえる関係かな



子どもの心に
残るもの



気楽にあいさつできるってこと



みんなの得意が活かせるところ



空気みたいなものでありたいね

5歳くらいのときに助け合えるつながり



みんなで
考え合える会



あったかいつながりだよな



良心でつながる
コミュニティ



まちをイキイキさせる素かな



なんだべな、 町内会

南平岸地区の
28町内会長・副会長に
インタビュー

会長さん!
町内会って
なんですか?



りんごの里、緑あふれる天神山

南平岸天神山町内会

平岸1条15丁目(一部)~23丁目、2条15丁目・16丁目(一部) / 910世帯

町内で世話になった大先輩から会長を受けてほしいと頼みこまれ、いつのまにか8年。任された以上は真面目に、課題が見つればすぐ対応することだけ心がけてきたよ。8年続いた理由は、役員や班長の仲間がいたからに尽きるなあ。会長だけでできることなんて、ほとんどないだよ。会長をしていて「楽しい」なんて思ったことはないよ。これは絶対ない(笑)。じゃあ、なんでするの?と聞かれたら、やっぱり周りの人たちと笑ったり文句言ったりしながら活動することが良かったからなんだろうな。これが正直な気持ちなの。うちの町内会の一番の自慢は、役員・班長が一所懸命でまじめ、熱心なこと。各部長や班長たちが自分の役割に責任をもち、前向きに取り組んでいるからね。おかげで広い天神山町内会が、全体としてうまく機能し、連携がとれている。

町内には南平岸のシンボル・天神山があり、精進川が流れ、近頃人気スポットの樹齢200年の天神藤もある。天神山は子どものころからのあそび場で、私の庭みたいなのだよ。住民は四季折々の自然に安らいているね。美化活動に気持ちが集まるのも、美しい自然があることが影響していると思う。こみステーションには美化を呼びかける役員お手製の手書き看板を掲げたり、夏には国道453号沿いの植樹ますを花でつなげたり。毎日のように手がかかるとはばかりだけれど、喜んでくれる声が届くことが関わった人の喜びになっているよ。平岸小、平岸西小、平岸中など学校が近いことも特色だね。子どもを育て見守る意識の高い住民が多いの。家族が落ち着いて暮らすのにいい環境なんだよ。

町内会長が強いイニシアティブをとる町内会運営もあるけれど、うちは役員で話し合い、住民に納得してもらいながらつくりたい。このためにも人と人との信頼づくり、関係づくりを日頃からたいせつにしたいね。



会長
細貝 寛さん

輪をえがき、踊る笑顔に、
花ひろく まちづくり

南平岸第二町内会

平岸1条13丁目~15丁目1番地、2条14丁目 / 1,033世帯

平岸の歴史を担う平岸小学校が町内会のエリアにあるのは活動するうえで大きいです。町内会の一番大きな行事「夏祭り」は平岸小のグラウンドをお借りしていますが、毎年盛大です。700名を超える方が集まる地域の夏の風物詩。通年の町内会活動への参加はハードルが高いけれど、ある時期だけのイベントなら手伝うと言ってくれる仕事をしている若い世帯の方が増えていて、夏祭りもこのころは若手主体の行事に成長した感がある。若い人の感覚でどんどんやってもらおうと思っています。このことが町内会活動の若返りにつながりたいいな。今後、夏祭りでは、役員さんの顔が見え、地域が交流している感じが強く前になる企画を進めたいですね。「あの人が知ってる! こみステーションのことはあの方に相談すればいいんだ」と地域の人が親しく感じてもらいたいな(笑)。役員だつてやっていることに誇りを持てる。

今後も「町内会の協力者」を役員の外側にもう一回りつくりたい。町内会活動を無理なくできることで、さまざまな人が関わり、「自分たちの町内会は自分たちで」と感じる若い層が育てほしい。

日常の活動は町内清掃や花壇整備、防犯防災活動、資源回収などさまざまあり頑張っているけれど、これだけが町内会の仕事ではないよ。町内の助け合い、交流も大きな目的。このために日々の活動を心を込めて行うことがたいせつ。先輩の役員さんがコツコツと積み上げてきたことは正にそれ。8割を超える世帯が町内会に加入していることからもそう言えると思う。月一回ほど行う役員会や定例会では、出席者に短くとも一言しゃべってもらうよう心がけている。とくに班長さんはたいせつな仕事をしているからこそ、前に座ってもらうよ。

どんな活動も私は「みんなで作ること」をだいにしたい。意見はさまざまでも解決策をみんなで見つけることが一番正しい。一つのことをみんなで考え合う、作業する、これが町内会の精神だと思うから。



会長
松浦 孝之さん

やさしさあふれる街

南平岸中央町内会

平岸1条10丁目~12丁目、2条10丁目~13丁目 / 1,120世帯

町内会って、偶然同じところに住んだ隣近所が、仲良く、楽しく、安心・安全に暮らすために、お互いさまの精神で身を寄せ合ったことが始まり。お隣どうしの日常が平穏に続き、ゆきつく先に一人ひとりの豊かな人生がある、町内会の願うところって、そこに尽きるよ。

暮らしに必要なことを自分たちで考え、行動し、価値を創る。ゆるやかで自由、やさしい情でつながるところが町内会の一番の魅力。良心で維持される自立的なコミュニティだから素晴らしいのさ。押し付けや義務だったら、苦しくてつまらなくなるでしょ(笑)。みんなそっぽ向くよ。

人が相手の町内会活動は、前進と後退の繰り返し。そこがいいのさ。町内会のマンネリ化なんて言う人がいるけれど、町内会は生き物だからマンネリなんてないはずだけれど(笑)。ただしおもしろくするには工夫が要って、その生き物を皆で上手に生かさないと。風通し良くし、さまざまな人に関わってもらう努力だよ。住んでいる場所を皆で育てる。町内会は、自らがすることでもおもしろくできる場所。関わって何か一つでも自己実現し、人生を豊かにしてもらいたいな。身近な地域が元気になることは、やがて大きなまち全体の活性化、公に寄与するんだよ。ただの自己満足とは、ちょっと違うと思ってる。

うちは1,200世帯近い大所帯。行事参加者が、すごく多いのが自慢です。人で溢れるラジオ体操や、バス7~8台を連ね300人以上参加する親睦会は圧巻だよ。うちの強みは「声かけ力」。役員、班長が一所懸命声かけする。これは役員会で常日頃「町内会の活性化は数で決まる」って話すから。役員数、加入数、参加人数、会議数…これは単なる数でなく次につながる人なんだ。仕事後もすすんで役員会に駆けつける人たちがいる。一所懸命な気持ちを引き出す場が町内会なのかな。「徳は孤ならず、必ず隣あり」って言葉がある。町内会でできることを何かしらしていれば、必ず楽しい仲間に出会えるよ。



会長
末廣 仁志さん

おかげさま、
おたがいさまのおつきあい

南平岸第五町内会

平岸2条16丁目(一部)~18丁目、3条16丁目~18丁目(一部)、4条16丁目(一部) / 528世帯

行事や活動に人が集まってもらわないと町内会は盛り上がりがないって考え方です。できるだけ来てもらう工夫や努力をしているんです。春にアサヒビール園で行うレクリエーションも、参加費を思い切って破格の値段にしたよ。少しでも参加しやすいようにね。そうしたら毎年70~80名が参加する人気行事になった。たくさん食べて、子どもたちははしゃいでいるよ。新しく建ったマンションからも何世帯も参加があつて、しぜんとまとまって座っているんだ。そういうのを見ると、取り組む意味があるなと感じて嬉しいね。親睦し、人を知るうちに、町内会に対する理解を深め、必要性を感じてもらいたいと願っているんです。仲良く楽しいところがうちの町内会の良いところ。そうでなければ長続きしないと思うんだ。

子どもが喜ぶことが私たちのやりがいだね。夏休みに平岸シエルター公園で行う火花大会には、150名ほどの親子連れが来て人気だよ。綿菓子の機械をリースしたりして、役員たちは大張り切り。地域の行事っていう体験を、子どもに残したい思いがあります。子どもが参加すれば親もついてくるでしょう? 町内の人が我が子のために一所懸命している姿を見て、いつか「する側」に加わってくれたらいいな。人が楽しそうにしてくれるのっていいものですよ。感謝されたら本当に嬉しいよ。誰だつてそういうものじゃないですか。

エリアに大規模な未加入マンション群を抱え、小規模賃貸マンションの未加入も多い。建った当初の事情や賃貸オーナーの考え方もあつて、なかなか町内会に入ってもらえない悩みがありますね。行政が町内会とともに動いて入会案内などの支援の仕組みがあれば心強いなあ。

胆振東部地震のとき、未加入マンションの水が出なくなったことを聞き、役員と包帯や薬を抱え、水が使えるところを教えに行きました。感謝されてね。同じ地域に住んでいるから気になるよ。おたがいさまだから、仲良く関わってゆきたいな。



会長
青木 哲郎さん

無理せず、仲良く、永らく

南平岸東町内会

平岸3条14丁目・15丁目・4条13丁目(一部) / 530世帯

南平岸東町内会は、「同じ地域に生活している会員相互の親交を図ること」——これは簡単に言うとお互いが知り合い、あいさつし、何かあったら気遣うことなんです、それから「生活文化の向上に努めること」を目的とした会です。

私たちの町内会については、「自慢することがないことが一番の自慢」と思っています。日常生活のなかでは「空気のような存在で」、「親子のようなしぜんの付き合いを」、「人として当たり前のことを」ということを、私はうちの町内会の長い歴史から学びました。その歴史を尊重し「無理せず、ゆつくり、できる範囲で、いざというときは対処結束！」を基本的な考え方に、「子どもの心に残る町内会活動を！」をモットーとして活動しています。

この「子どもの心に残る町内会活動を！」のモットーは、あるエピソードから生まれました。ある班の役員が、小さな子どもたちと夏に花火をしようとしてもマンションの前では煙や音が出るため花火が十分にできない。できればそのような心配のないところで、家族だけでなく大勢で花火ができないかという提案がありまして、検討した結果の事業です。それが本町内会の「七夕まつり(夏祭り)」の取り組みになりました。毎年8月上旬に開催し、花火は無料配布でゲームなどで交流する、我が地域の楽しみの行事です。

札幌市全体で町内会がなくなっても、個々人の生活に不自由が生じなくなるシステム(市の組織も個人の考えも)になることが夢です。イギリスでは、町内会はなく公に行わなければならないことは、地域の自治体(公)が行い、個人の活動や考えて自由に集まり、個々人の生活は個々人の責任で送るとのこと。地域の束縛で行う活動には限界があり自由な発想が阻害されるため、本当の意味の有効な活動ができません。住民の意思を反映するためには、住民が自らの責任で作った組織に意義があり、自分の地域を自分たちの意思でかたちづくることのできる地域づくりが夢ですね。

住みよい、和やかな、助け合う町内会

南平岸駅前町内会

平岸3条11丁目(一部)~13丁目 / 1,010世帯

1,000世帯を超える町内会で戸建は90世帯。あとはすべて集合住宅に住んでおられます。地下鉄南平岸駅の最寄りて利便性も高く、若い世帯や単身者も多いエリア。いろいろな人が暮らしています。町内会はこうしたいろいろな人の持ち味や強みを寄せ集め、一つの良い地域をつくり上げる場所だと思います。うちは困ったことがあると助け合える町内会。役員どうしも仲が良く、それぞれに得意なことがあり協力しあっている。一人暮らしのおばあちゃんの庭の木が生い茂り道路にはみ出したことがあってね。そのときは「どうしてほしい？」って話を聞きに行く役、枝を切りに行く役がいた。町内会では、外で作業に立ち会う係、甘酒の準備係(笑)。そんなふうにしぜんに分担しています。平岸あさがお公園での草刈り作業には、町内会「ぶどう狩り」で役員と顔見知りになった集合住宅の子どもが参加してくれた。道路であそぶ子どもに声をかける役員もいてね。互いがそつと気遣い合う町内会だと思いますね。

7年ほど前から町内会では、見守りのマッチングに取り組んでいます。おしつけてなく見過ごさないことが基本です。必要以上に詮索しない。してほしいことを自分から声をあげてもらおうしくみを考えています。年をとると、ひとりでは何にもできなくなるし、どこにお願いしていいかわからない。うちの取り組みは万能ではないけれど、こうした困りごとを助ける手段の一つだと思っています。

町内会ってふだんの声かけから始まるんじゃないかな。おはよう、いってらっしゃい、ありがとって。誰かが声を発していかないと、ほとんどの人は自ら関わってこれないでしょう。それを教えてくれたのは平岸小PTA会長をしていたときの経験。私が卒業式で話した内容を覚えていた子が、突然道端で話しかけてきてくれた。聞いていてくれたんだって嬉しくて、声をかけることで、相手とつながることを小学生に教えてもらったのよ。

明るく住みよいまちづくり

南平岸第八町内会

平岸3条9丁目(一部)・10丁目・11丁目(一部) / 750世帯

平岸のなかでもうちの町内会あたりが、古くから人が住み始めた場所なんだ。町内会ができたのは昭和42年。それよりも前に地主さんが住宅用に土地を分譲し、移り住んだ人たちが自治会をつくったのが町内会の前身って聞いたら60年近い歴史がある。交通の便がよく商店や病院も多くて、昔から住みやすい場所だね。いまでも若い単身者や小さな子どものいる家族がほとんど移り住んでいる。環状通や地下鉄ができて以降はとくに、のんびりのどかだったまちの景色がどんどん変わっていったよ。

急激に人が増え若い人もいるのに、担い手の交代や行事への参加呼びかけがうまくいっていないのが、いまうちの町内会の大きな問題なんだ。総会や行事に出てきたら何か面倒を頼まれると思うのかな。新しい人をうまく取り込めなくなり、体力的にもきつい行事はやめてしまったのさ。平岸児童会館での餅つきや平岸七草公園での盛大な盆踊り……、かつては元気な人がたくさんいて盛り上げてくれていたんだよ。本当に残念なことだっと思ってのよ。

いま町内会の支出を大きく占めるのは排雪だね。市のパートナーシップ排雪制度を利用しても、町内会エリアが広いものだから毎年100万円ほどかかる。このために他の事業が圧迫されるのさ。中通りに面した企業や商店にも協力をもらい、みんなの生活に支障をきたさないよう取り組んでいる。排雪の日には役員も立ち会って一日がかりの重労働だよ。こうした日常を支える町内会の取り組みや経費のことが、案外知られていないし、発信もうまくできなかったのさ。

親も児童も町内会に関わってきた私は、この土地に住むという暮らしの延長で町内会に関わることに抵抗がなかったんだ。いまの若い人には若い人なりの交流の場があるんだろうね。それでも孤立しがちと聞くのは心配で、顔が見える町内会に目を向けてほしいと思うよ。こちらのつくり方が足りないって言われるかもしれないけれど(笑)

思いやりある町内会

南平岸第九町内会

平岸4条14丁目(一部)・15丁目(一部) / 107世帯

「町内会はこういうものだ」って決めつけない方がいいと私は思うんだ。前例踏襲とか昔はこうだったとか言ったらダメさ。新しいことでも、その人のできる範囲でも構わない。そのかわり忘れないで町内会をずっとだいに続けてねって気持ちで、町内会の人たちを見ているよ。

町内会には入りにくいあって人はいっぱいいると思う。でも興味を持っている人も必ずいる。そういう人に門戸を開いてゆくつてことがだいじで、こちら側がちゃんと注意していないとね。私は人に任せることを意識しているよ。役員もなりたてなら当然最初はどうしたらいいかわからないもの。だから初めに一回教えて、あとは付き添ったり連れまわしたり(笑)。とにかく自分の目で見てもらうのさ。そのうち興味が生まれて、主体的になる人が必ずいる。たとえば敬老の日のお祝いは、私と役員とで届けます。役員を高齢者の方に覚えてもらいたいって目的もあるけれど、役員自身に誇りと責任感を持ってもらえるから。

やっぱり人と関わって何かするってことが、人にとって一番たいせつだと私は思うよ。みんなですればかなりのことができる。いっしょにやっつて成果が出れば、楽しさにつながる。町内会はそういうことができる場所なんです。そして「する」か「しない」かを小さく考えれば「しない」ほうが楽で簡単だよ。だけど本当にそれでいいのかな？ っつて引っかかるものがあるから、みんなするんでしょ。自分だっつて会長をただのつなぎとって受けたの。だけどやりはじめたら次々とするべきことが見つかった。楽しさを見つけたのさ。

まちづくりも、自分たちは何にもしないで行政に訴えて何でもしてもらおうより、市民のほうから動きをつくつて、いよいよつてときに公的な援助や智恵をもらえばいい。頼つてばかりだと、下手すれば町内会が崩壊しちゃうよ。自分たちでまとまり、いい場所をつくる努力をするべきだし、これが一番楽しいことじゃないかな？

明るく元気に
あいさつができるまち



南平岸第十町内会

会長
新井 潤さん

平岸4条16丁目(一部) / 43世帯

隣近所がちょうどいい具合に気にかけてくれる、こじんまりとアットホームな町内会です。この間も我が家が数日留守にしたら、「新井さんところいつも開くカーテンが開かないけど何かあったんじゃない？」なんて近所で気にしてくれた(笑)。こういうのが煩わしいって人もいるけれど、家族以外が気にかけてくれるって、いまの時代ありがたいことじゃないかな。

うちの町内会は、別のマンション町内会が真ん中にあることで、二つある班が離れたかたちになっているんです。だから清掃活動や親睦会でできるだけ顔が合うように心がけているよ。毎年9月の「焼肉パーティ」は喜んでくれる人が多い行事。焼肉パーティなのに、豚汁あり、イカ焼きあり、焼きそばあり。極めつけはおしるこまで。役員たちは準備から相当力入っています(笑)。子どもも大人も賑やかに飲んだり喋ったり。来ない人がいると、「忘れてるんじゃない？」って心配して呼びに行く。互いを気遣える町内会の良さでしょう。いまは町内会活動に参加できない30代、40代も、「何やってるんだろう」と私たちのようすが気になって、そのうち「こんにちは」って顔を出してくれるのを願っているんです。

自分は京都出身で、奥さんの地元・南平岸に来た当初は知り合いがまったくなくて。そのうち子どもが生まれて、近所の同じくらいの子をもつ同世代の親と仲良くなっていった。いまはすっかり札幌人。近所に飛び込めたことが、こうして町内会活動につながっていますね。

町内会に入らなくていい時代困らないかもしれないけれど、住んでる場所に言葉を交わす人もいないなんて、それじゃ寂しくないかな？ あいさつしたってそっぽ向く人ばかりなら、まち自体が冷たくなる。町内会って義務ではないし、肩肘はってまでするものでもない。だけど何かあれば助け合うって、どんな人にもあるしぜんな良心だと思うよ。損得とっばらって付き合えるやさしい仲間がいるのが町内会だからね。

住みよいまちをめぐす町内会



平岸南ヶ丘町内会

会長
竹部 直子さん

平岸4条14丁目~18丁目(一部) / 150世帯

令和元年から町内会長を引き受けて活動しています。私は町内会のエリアにある社会福祉法人草の実会の職員でもあるんです。草の実平岸の里は平成12年に南ヶ丘でスタートし、地域の一員として町内会との連携と交流を積み重ねてきました。20年を経過したいま、町内のみなさんにはあつて当たり前の施設になってきたと感じます。

うちは役員決めでは毎年困るのですが、「手伝って」って声をかければ、班長はじめみんなが一所懸命に関わる町内会なんです。気持ちよく協力し合えます。転入者に町内会加入を呼びかけると、みなさんわりあい入ってくれます。班長なら受けてくれますが、役員はね…(笑)

令和元年に、札幌市から「ます花壇優良制作者表彰」を受けました。毎年平岸高台小の児童と住民とで花植えをしますが、その後は役員さんたちが心を込め面倒を見ている。そのおかげで花は見事で、心が潤いますよ。行事としては「南ヶ丘・草の実夏祭り」が盛大です。500~600人が参加しますよ。草の実会との共催で15年ほど続いています。わたあめやヨーヨー釣りなど、子ども大喜びの手づくりのお祭り、花火大会もすこいですよ。ほかにラジオ体操や役員会など草の実会の施設・敷地を使わせてもらっています。町内で集まる場所があるのは、助かりますよね。地域団体が協力しあい、互いにいいことが生まれていますよ。

いま外であそぶ子どもは少なく、隣りにどんな人が住んでいるのかもわかりづらい世の中でしょう。でもいざってときに隣近所を誰も知らなかったら、生命を守れないと思うんです。そういう意味では町内会って、生命を守るための一つのしくみですよ。人と人の関係を深めることまではできなくて、せめて人と人とのつながりを切らないために町内会には必要。人間助け合って生きていかなきゃ、住みやすい社会にならないものね。

安心して暮らせる住みよい
マンション町内会



GSハイム平岸町内会

会長
安達 ひで子さん

平岸4条17丁目1-1 / 100世帯

顔を見かけたら「こんにちは」ってあいさつして、「どう、元気?」「これ食べない?」なんて楽に言葉を交わせる人が身近にいるのはいいものだよ。うちは築40年近いマンション町内会で、入居する世帯の100パーセントが町内会加入。ふだん何気なくお互いあいさつできるのは、きっと毎年のように町内会で「春を楽しむ会」、「秋を楽しむ会」などの親睦会を続けてきたからだね。行事でちょっとずつ打ち解けて、お互いの顔を知ってこられたのがよかつたんだと思います。やっぱり安心して笑顔で生活できるって基本だよ。うちの町内会の素敵なところは、みんな仲がいいところなの。

マンションに集会所があるから、集まる場所には不便しないの。集まる場所があるのはいいね。ここを使って私たち定期的に「お茶会」をしているの。気軽にあそびに来て！って声かけて。おじいさんや、おばあさん、困っていたり悩みがあつたりする人が、ちょっとおいしいものを囲んで、わいわい会話すれば気分転換になるでしょう。そういうのがイヤだって人もいるかもしれないけれど……(笑)、たいい人はさりげなく気にかけてもらえることって嬉しいんじゃないかな?

私が町内会活動を始めたのも、隣近所の見守りをしているのも、きっかけは人からの声かけがあつたからだけど、もともとが人好きなのね(笑)。自分のできることで相手が喜んでくれるのを見るのが好きなんだよ。これは昔からです。今日もおこわをつくって15人くらいに配ってきちゃった。無理にするのではなくて、自分の得意なことでも嬉しくなってくれるなら、こつちも楽しんでしょ。私が町内会をやっている一番の理由ってこれなんだよ。

町内会って、誰に対しても平等な場所だからいいと私は思っているの。それで大人も子どもも対等に笑顔で暮らすってことが一番なのよ。そのために町内会には誰にとっても楽しくて、嬉しくなる活動を続けなくちゃね。

何ごとでも「さわやかに」



メゾンドルチェ平岸第3町内会

会長
松本 正志さん

平岸4条18丁目1-50 / 118世帯

うちは出入口が12もあるマンションの町内会でね。出入口がそんなにあると、会わない人にはぜんぜん会わないってことがあつてね。いまは表札や郵便受けの名前を出さない人も増えているでしょう? そうなると何という名前の人か、どんな人が暮らしているか、わからないまま同じところに暮らしてることになっている。マンションが建てて30数年が経ち、居住者の高齢化とともに若い世代への入れ替わりもだんだんと増えてきたからこそ、普段のコミュニケーションがたいせつになっていると感じるよ。まずは朝夕顔を合わせたときのあいさつをだいにしたいなあって思っているんです。

中央広場で毎夏行夕食会や、町内会新年会は、参加者が多く賑やかに盛り上がる楽しい行事。たくさん来てもらいたくて、町内会だよりを充実させ声かけもするよ。親睦が目的だけれど、ある種の防犯機能・見守り機能にもなる活動って思っています。お互いの顔を知り、気にかけるきっかけになるよね。たとえばマンションの敷地に見かけない人がいても、「おや?」って気づくことにもなるしよ。

ここは女性部の活動が活発化して、町内を活気づけてくれていますね。マンション内の集会所に集まって、勉強会だったり、麻雀やカラオケなど趣味の会だったり、さまざまな企画をしています。植樹すへの花植え「花いっぱい運動」も毎年女性中心に協力者が出てきて、平岸高台小の子どもたちと道路を彩るの。男は隣近所の付き合いの場になかなか出たらないけれど、女の人は概して積極的で仲良くなる力があるの不思議だな(笑)。町内会に女性の力は欠かせないね。

班長は輪番制で、年に4~5回集まってもらっています。役員メンバーはことあるごとに協力して集まっている。我々役員の後継者が見つからないのがいまま一番の悩みだね。新しく班長になった人たちに活動を楽しんでもらいながら、少しずつ担当をバトンタッチしてゆきたいなと思ってるんだ。

◀ 緑あふれる しずかな町内会 ▶

📍 平岸高台第一町内会

平岸6条15丁目～17丁目、7条15丁目・16丁目(一部) / 361世帯

会長
中野 剛さん



町内会に入る最大のメリットは、家族の顔を町内会の人に覚えてもらえること。子どもが成長し、親の目がゆき届かないところへと活発に行動範囲を拡げても、私が町内会に関わっているおかげで「中野さんちの子どもさん、あそこであそんでたよ」とか「今日はちょっと元気なかったぞ」って気にしてもらえています。隣りに暮らす人だってわからない時代に、親以外の大人の目がいくつもあって我が子を見てもらえるなんて、すごいことだと思います。親としては安心な気持ちになります。子どもも誰かに見守られていると思えば、悪いこともできないんじゃないかな。

私は80数世帯あるマンション暮らしですが、マンションからはいま、うち一軒だけが町内会に入っています。会員でなければ、子どもがラジオ体操など町内会行事に参加しづらいんじゃないかと心配したことが入会理由でした。そんな心配は要らなかったのですが、それよりも町内会に入って一年目の私に、いきなり副会長がまわってきた。副会長は次年度会長に就くのがうちのルール。自営業で昼夜問わず忙しく、何かあれば夜中でも飛んでゆく仕事です。なんて私が!? と正直思いましたよ(笑)。けれども先輩役員の方々が、私の不安な気持ちを取り除きサポートをしてくださったんです。役員会の時間帯を見直し、分からないことだらけの私に何度も説明し助けてくださった。いきなりの役員経験から得たものは大きいです。役員や班長をお願いすれば、普通でできない理由を挙げて断られます。「そうですよね…」と引き下がらず、できないと感ずる理由を聞き不安をとってあげて、ともに動いてあげることが、担い手を迎える側に必要だと思います。いま最高に忙しい人が言うんだから本当ですよ(笑)

ITを使った情報発信や入会手続きの簡略化、書類のデータベース化など、町内会にも課題はある。アップデートすべきはしつつ、変わらない町内会の良さをみなさんに知ってもらえたらいいな。

◀ 「向こう三軒両隣」がモットー ▶

📍 平岸高台第二町内会

平岸5条14丁目、6条14丁目 / 105世帯

会長
佐々木 一夫さん



小学5年で引越してきて以来ずっとこのまち暮らし。私の親世代の人たちが、相馬神社の祭りや町内の行事など力を合わせてきた高台地区のつながりが、いまも引き継がれているよ。

何かあったとき互いに手助けできたらいいというのが町内会。けれど見も知らぬ人どうしならそうはならないでしょ。花植えをしたり、資源回収したり、花見やラジオ体操をやったりと、ふだんいっしょに活動して顔を知っているからこそ、何かあったときには「どうしたべ?」って思い合えるんじゃない? それから、一人では解決できない困りごとを、みんなで動かしたり訴えたりする場合に、「町内会」の看板は強いと思うんだ。

うちは若い世代も、積極的に町内会活動に参加してくれるよ。毎年いろいろな町内会行事を計画しているけれど、令和2年は新型コロナウイルスが流行したことで、行事や活動はほとんど中止にせざるを得なかった。けれども「何でもかんでも中止ではなく、みんなが集まれないときでもできる事業を」という考えで、町内にある商店で町内会員が買い物したら、1世帯につき1,000円分を町内会から還元する事業を実施したよ。来た人を名簿でチェックしてもらっただけなのさ。規模の小さい町内で、お店の人も顔を知っているからできたことだと思う。喜んでもらったと思うているよ。

自分が町内会をやっているのは、やっぱりいっしょにする人がいるから。勤めをしながらも会長を引き受け続けられたのも、あれもこれもできない自分でも、助けてくれる仲間がいたからなんだ。

暮らす人それぞれのライフスタイルにあわせた無理のない町内会、今度こんなことをしてみたいって気軽に話せる町内会にしたいと思っています。敷居が低い町内会が理想だよ。

◀ 朝・昼・晩のあいさつをしよう ▶

📍 平岸高台第三町内会

平岸7条13丁目・14丁目、8条12丁目(一部)・13丁目(一部) / 178世帯

会長
池田 和雄さん



町内会の一番の目的って、向こう三軒両隣と仲良く過ごすこと。両隣のさらに隣り、隣りへと個々が気持ちよくなつがるイメージです。この地縁ある人たちが、ともに吸う地域の空気は乱したくないし、汚したくない。このために町内会がある。町内会はずも自由で、柔軟に考えてゆけるのがいいんだよ。他から決められ、強いられるものじゃない。町内会には必要なことが二つあると思っていて、一つは何事もなく過ごせ安全・安心であること。もう一つは、これを守るために行政とともに真剣に仕事し、ときにはケンカするということです。

町内会長になったのは定年して2年め。世話になった地域の人から頼まれ恩返し気持でさ。町内会長って平たく言えば昔のヤクザの親分。まちの安心と安全を守り、いさかきをなくすっていう意味でね(笑)。時に嫌なことも言わなきゃいけない立場だし、みんなをその気にさせるよう気遣う役だから。心掛けるのは、聞いて、決めること。最後は会長の判断だとしても意見を聞くことを真面目にやっています。

ほかに私がしているのは、町内を歩き回る。すると他の人が気づかない変化に気づくよ。気になったことを担当の役員と相談し手当てする。だいたい仕事だと思っています。班長には「会費を集める」、「回覧を回す」、「募金寄付のお願い」を頼んでいます。これは近所の人と顔を合わせるチャンス。寄付集めの個別訪問なんてすごく嫌な役でしょう? でも10年に1回くらいの頻度で嫌なことを体験して、次の人のとき喜んで協力してもらいたいからさ(笑)

働き盛り世代に、どう町内会に関わってもらえればスムーズな引き継ぎができるかと考えて、いまは行事の応援ができる範囲でもらっています。平岸くろみ公園での「夏のこどもまつり」は大評判で、花火やお菓子を喜んで子どもが集まり、協力の大人も合わせ80名くらい参加するね。行事に子どもを巻き込むことにも、今後の活動の希望とヒントがあると思うな。

◀ 明るい楽しい街づくりをめざす ▶

📍 平岸高台中央町内会

平岸6条12丁目(一部)・13丁目 / 312世帯

会長
小田 良廣さん



冬になると、平岸はころも公園周辺に住む我々は、道路にたまった雪を公園にのけるんです。豊平区の土木センターと協定を結び、雪なげを了解してもらっています。雪を運ぶときや、春先にいっぱいになった公園の雪山を平らに崩すとき、付近の住民が声をかけあい作業にせんと人が集まってくる。小・中学生たちも親や役員に交ざってソリで雪を運んでくれる。そういうのを見てると、うちの町内すこいもんだなあって感ずるんです。自分たちでできることをしぜんにするって、町内会に行きわたる精神だと思うから。

協力し合えるいい町内会でも、役員など担い手となると簡単ではないね(笑)。子育て世代にお願いするにはハードルが高い。でもやっぱりそこもしぜんのかたちで出てくるのが望ましいと思っていて、上の世代がする姿を見て、若手が気づき、ついてくれるのが理想です。町内会って関与しなくてもダメなんじゃないですか。相手の気持ちが出てきたときに、いつでも輪に迎えたい。その準備のために、レクリエーションや入学祝、敬老祝の個別訪問で、役員と会員が顔を合わせる機会をつくっているんです。レクリエーションは年に1、2回していて、アサヒビール園での懇親会には120名を超える参加があって嬉しいですよ。喜んでもらいたくて、参加費を安めに設定しています。平岸高台地区の5つの町内会が連携し行う排雪は、町内会には大きな支出だけれど、いまはまだ追加の会費をたらずに会員に還元しようと思っている。町内で課題が見つければ、そのことをもとに相談ができる。それがだいじなんです。

高齢者見守りのしくみづくりに、町内会への要請が増えていると感ずるよ。でも、見守られる本人や家族は隣近所からのサポートを本当に望んでいるのか疑問でね。長続きする良い関係って踏み込んでしまうことではつけない。何かあったら相談してねといっせんな関係も、自分たちの考えた活動のなかから生まれるものだと思っています。

明るく住みよい安心・安全の
町内会をめざす

平岸高台第五町内会

平岸6条12丁目(一部)・7条12丁目・13丁目(一部) / 170世帯

うちの町内会はいま、大きな分かれ道に来ていると思うんです。このまま町内会を継続するのか、やめるのかという悩みが次第に大きくなっています。

こうした話題が出てきた背景の一つに、町内会区域が羊ヶ丘通りを挟み二つのエリアに分かれていることがある。一方は古くからの戸建てが多いエリア、一方はマンション、アパートが多く町内会未加入の方も多いエリアだね。居住形態やなり立ちの差からか、住民の町内会活動の捉え方にも温度差があり、それでも歴代会長も私も分断させず仲良くやろうとがんばってきたの。でも町内会を守るために小さな町内会に分けてそれぞれに合う活動にしたらよいか、なんなら解散してはどうかという意見が出てきた。

それから古い戸建てが多かったエリアもここ数年で30代くらいの若い世帯が移り住み、世代交代が始まってね。ただ活動への参加がまだまだ少ない。それで古くからの住人に、「交流会をするから参加してよ」と誘うと、「ふだんからずつつきあいのある人がいるもの、新たに交流しなかつたっていい」って言われちゃう。役員に加わって町内会を引っ張る仲間、もっと言えば次期会長候補が見つからないのが一番悩ましいね。

うちはこれまで、助け合いと気にかかけ合いがしぜんにできていたまちな。雪かきで隣近所が何気なく手を貸してくれる町内会。そのありがたさを、ふつうすぎてみんな気づかないのかもしれないね。こんなこと言いたくないけれど、なくなってしまうのはじめて町内会の良さがわかると思う。町内会って、誰かがしてくれる、好きな人でやっているって思われがち。なかには解散しても、札幌市が何でもしてくれるから困らないんだって言う人も。そんなことはないよね。地域に住んでいる人が、自分のまちを考えないで、市に何をどう言っていけるのだろうね。危機感もって真剣に考える時なんだわ。しぜん助け合いのあるうちの町内会の良さを、新しく移ってきた若い人にも感じてほしいのね。



会長
佳原 真弓さん

みずなきはぐくみ
あたたかい町内会づくり

平岸高台第七町内会

平岸4条12丁目~14丁目・5条12丁目・13丁目・6条12丁目 / 163世帯

町内すべての世帯に、町内会のお知らせや活動の情報を発信してゆくのはむずかしくてね。とくに賃貸マンションやアパートは、回覧は要らないってところもあって、掲示板もない場合があるから、情報の届けかたに悩みます。会費を払って入会しているメリットを感じてもらいにくい。除排雪くらいだろうか。行事があるからみんなに参加して欲しいと思っているの。今ならSNSを使って発信するなどのアイデアもあるだろうけど、町内会のお知らせにどのくらい効果的なのかと感じる。得意な人に役員に入ってもらって、広報をはじめ活躍してほしいと思うよ。新しい人の新鮮なアイデアをもらえたらいいな。

町内のエリアには、HTB(北海道テレビ放送)のテレビ番組から全国的に有名になった平岸高台公園がある。地下鉄南平岸駅にも近く利便性があるから、戸建てやマンションが増えてきているよ。私が住み始めたのは昭和50年代。高台で見晴らしの良いところを探して気に入ったの。当時は町内から手稲山までスーツと見えていた。子どもが小さいころは平岸高台公園でスキーをしたよ。いまもとても住みやすく環境の良いところですよ。

4~5年前から「町内そば打ち会」を平岸高台会館でしています。役員にそば打ち会の先生がいて、朝早くから準備に張り切ってくれるの。幌加内、浦臼、新得などの産地からそば粉を取り寄せ、みんなでそば打ちし、新そばを食べ比べるんです。回覧を見て20~30人が集まるよ。おいしいものを食べてわいわいと、みんな喜んでくれるよ。またいつか再開できたらいいなあ。ほかに秋の遠足で温泉地帰りしたり、白石藻岩通りに花植えをしたり、資源回収をやったり、楽しく協力し合う町内会ですよ。

町内会なんて、この先なくなってしまうんじゃないかなって感じることもある。でも隣近所できかない、いざというときに助け合える関係ってこれからもたいせつだし、あったほうがいいと思うんだ。



会長
八巻 康夫さん

小さいながらもわが町内会

平岸高台第六町内会

平岸6条12丁目(一部) / 87世帯

いま新築の一戸建てやマンションがポツポツ増え始めていて、町内会に加入してくれています。20代後半から40代といった若い家族が移り住み、まちが活気づいてくのは嬉しいね。月寒公園、平岸高台公園、ほうず山に隣接して学校や区役所も近く、子育てにも環境のよい地域。長く居住された方から、新しい人たちに入れ替わる時期なのでしょうね。

私は、家庭も地域も「声のかけあい」が何よりたいせつだと思っています。「おはよう」、「元気?」といったあたりまえの言葉が関係をつくるから。あいさつされて悪く思う人はいないでしょう? 町内清掃に出てきた人どうしが、「久しぶりね」とか「ごくろうさま」とか、なげなく声をかけるようすは、本当にいいものですよ。大きなイベントがなくても日常の生活や小さな活動のなかで、互いが言葉をかけ合える、おおらかな町内会をめざしたいんです。

若い世代には、まず班長などを願っていて、しぜんと町内会活動に溶け込んでほしいですね。ただ先日「昔からいる人は世話好きが過ぎて、かえって煩わしく感じることもある。忙しい町内会にはこだわりたくないです」と本音を漏らされてね。私も若い時は仕事が多忙で、地域のごことは人付き合いの良い女房に任せっきりだったから理解できてしまっただけ……。そういうのを聞くと、お願いもむずかしくてね。

いまは夫婦共働き世帯がほとんどで昼間は地域との接点がほほないうえに、休日も家庭の用事優先で町内会行事には参加しにくいでしょう。町内会レクリエーションにも人が集まらなくなってきた、とうとうやめました。役員にもできるだけ負担をかけたくないから、町内会は最低限の活動にしまったの。人に無理強いはいしたくないって気持ちと、寂しい町内会になってしまう悩みとがぶつかるね。

若い人や新しくこのまちに来てくれた人に遠慮せず、どんな町内会がいいか、どんなことなら関わられるか尋ねられたらいいんだよね。



会長
和田 道一さん

空気のような町内会でありたい

平岸高台第八町内会

平岸5条11丁目・12丁目・6条11丁目・12丁目(一部) / 245世帯

もともと一軒家が多かった町内に、分譲マンションや小規模の賃貸マンションが増えてきているよ。分譲マンションのみなさんは、町内会活動に協力的で、地域に溶け込もうとしてくれます。朝、雪かきしているときなど、家の前的大型マンションから出てくる人に「おはようございます」って、こつちから声をかけるのさ。相手が気づかなくても毎日あいさつの声かけをするうちに立ち話になり、そのうち向こうからも声をかけてくるようになる……。すべてあいさつが始まりだよ。

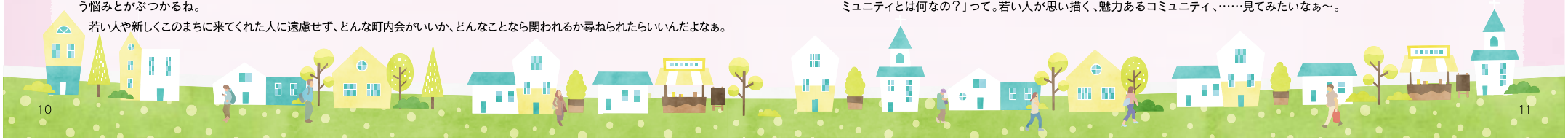
夏にはアサヒビール園で「懇親会」——親子連れなど60名ほどが参加してくれるよ。また、家の周辺掃除をスタートに平岸ほうず山公園がゴールの「春・秋の町内清掃」——新顔さんと古顔さんがそろって町内美化に汗を流し、会員のみなさんと直接言葉を交わすだけじゃなく行事だよ。

僕のころには、隣近の人からよく相談が持ちかけられる。町内会に入っていない人も来る(笑)。訪ねて来られたら門前払いしない。相談内容は役員で共有し、僕一人で抱え込まないようにしているよ。役員はそれぞれ現役時代の仕事で培ったスキルもあり、智恵を寄せ忌憚なく議論ができるいいメンバー。解決できないことがほとんどだけど「困っている人の話は聞く」。これもだいたいしているよ。

見守り活動など行政から町内会へのお願いが増えている。本来は行政の仕事だよ。スマホが命——顔を会わせないSNS、LINEなどを使ったコミュニケーションがふつうになって、スマホ一つで全国の人とつながる自己完結・自己責任の時代。少子化、共働きもあたりまえの世の中になっている。札幌市の若手職員に聞いてみたいよ。「町内会は必要かい?」、「魅力ある地域コミュニティとは何なの?」って。若い人が思い描く、魅力あるコミュニティ、……見てみたいなあ。



会長
片庭 将さん



明るく住みよい健康な
地域社会をめざす

平岸南町内会

平岸7条16丁目(一部)～19丁目、西岡1条7丁目(一部)・8丁目(一部) / 245世帯

みんなが活躍できる場所を町内につくろうと思っています。町内会ってボランティアだから、楽しくやらなくちゃダメだと思うのさ。うちの町内会はありがたいことに人材の宝庫。いろいろな趣味、経歴、特技をもった人がいる。どの町内会にも素晴らしい人材がきっと眠っていると思うよ。講師を頼んだり企画を考えてもらったりとみなさんの能力を活かしてもらっています。参加するほうも面白い体験ができて大喜びさ。そば打ちや書道教室、英会話レッスン……どれも会員の何かでできる力を発掘した結果です。平岸南むつみ公園で100人で食べた茹でたてのそば、みんなおいしいおいしいって言ってたなあ。

会長になった8年前、何から始めようかと考えたとき、やっぱり毎日の生活のことからだと思いました。当初はごみステーションのマナーが悪くカラス被害も酷かった。そこでステーション全部に番号をふり、住民にどこに捨てたいか、どう改善したいか希望を聞くアンケートをした。そして町内会の班とは別に、最寄りのごみステーション・グループをつくることにした。自分たちのステーションだって意識が高まり、当番もばっちり協力してもらえるようになったよ。なによりごみを捨てにゆくとび近くの人の会話が増えた。

町内会組織に限らず、何かあれば相手のところに行き話を聞き、現状を見て、相談して、できる範囲で対応することを私はモットーにしているの。ごみステーション整備も札幌市と相談し、助成を利用してずいぶん良くなった。町内の街灯49本のLED化も町内会の思い切った支出になったけれど、電気代、修繕代を市負担に移行でき、長い目で見たら負担が減った。役員が協力し合い、行政とも仲良くしながら前に進んできたんだよ。「批判は謙虚に、称賛は惜しみなく」って言葉、私は好きでね。町内会にもさまざまな考えの人がいて苦労もあるけれど、互いの良いところを認めながらやわらかくまとまっていければいいと思います。



会長
山崎 昭二さん

高齢者に思いやりある町内会

朝日プラザ平岸台町内会

平岸7条14丁目1-7 / 110世帯

うちは入居者すべてが町内会に加入しているマンション町内会です。築37年ほどになるので、最初のころから入居している人のなかには、歩くのが不自由になった人、動けなくなってきた人もだんだん増えていてね。だからこそ高齢者をみんなで気にかけてあげたいと思っています。子どもから大人まで、思いやりある仲の良い町内会っていうのが自慢なの。

町内会って、私は仲良し会だと思っているんだよね。そして人と人が助け合う会。それもあくまでもボランティア精神でね。私が町内会をする理由は、人と関わって仲良くなるのが一番の喜びだから。40年間教員をしていたのだけど、生徒に関わり、部活動でいっしょに汗を流すのが何よりも好きだった。人と何かをすることを、つらいなんて思ったことがないんだよ(笑)。きつとこれは15人兄弟の末っ子で周りみんなに育ててもらった経験が大きいんだね。人とわいわい過ごす楽しさを知っているの。

うちの町内会は、行事やサークル活動が盛んだよ。月に1回理事会(役員会)を開いてコミュニケーションを図っている。それに「ヨガ教室」や「いきいき運動教室」、「うたの会」といった趣味の活動を定期的で開催している。講師は住んでいる人の中から見つけたり、知り合いのつてだったり。毎回10～20人ほどがマンション内の集客室に集まって楽しそうに過ごしているのさ。30人ほど入る集客室がマンション内であって、そこを使えるのが町内会が賑やかになる強みだね。

子どもたちの誕生会や小学1年生の新入学のお祝いにお菓子を配ったりもしていて、喜ばれているよ。若い世代に町内会を知ってもらうには、子どもたちに楽しい経験をしてもらうことからだね。子育て世代の親子を巻き込んで、世代を超えた交流をだいたいしたいね。



会長
石田 つかささん

世代を超えてともに楽しく交流する町内会

緑風町内会

平岸7条14丁目(一部)、8条13丁目(一部) / 70世帯

緑風という名のとおり、緑に包まれた環境のいいところで。望月寒川が流れ、月寒公園も近くで、町内を歩くとなんとなく落ち着くよ。

私が会長になる前に、お二人の熱心な町内会長さんがおられ、町内のしくみや行事を整えてこられた。そのおかげで仲の良い町内会活動がいつも続いている。これまでの役員さんが一所懸命築いてくれた姿を見ているものだから、会長になるときは「自分もやるしかないな」と思ってね。若い世代に良いことを引き継いでゆこうと思いました。

うちは役員がすごく協力的。一所懸命な人が多くて助けられているんです。総務部長も50代で仕事もあるけれど、とても熱心。「緑風だより」や「防災だより」作成の中心になって町内会に情報を発信してくれま。私は若い役員たちの智恵を集めて、そこに乗っかっらせてもらっているだけでね(笑)。班長さんが交代するタイミングで、引き続き役員の協力をお願いするのは私の役目です。口説き方がうまいのか、これまで何人も協力してくれました(笑)。男性はリタイア後に町内会活動を始めるのに対して、女性は忙しいながらも積極的に手伝ってくれま。緑風はパワフルな女性の力でもっていると言えるよ。

季節ごとの町内清掃活動には、半分以上の世帯が参加してくれます。子どももくっついてきて手伝ってくれる。嬉しいね。それから災害に備え、町内に立地する介護施設にお願いし、いざというとき高齢者の避難所として使わせてもらう契約をしています。最寄りの陵陽まで避難するのは高齢者には厳しいからね。

今後町内会活動には、さらに若い人——高校生や中学生くらいがどんどん関わってほしいな。かき回してくれるくらいにね。大人に期待されて若い人が、新しい考えと力をどんどん発揮してくれたら楽しいだろうな。

誰にとっても仲間というものはあったほうがいいと思うよ。隣近所とのつながりが、住んでいる地域だけでなく世の中を楽しく安心なものにするんじゃないかな。



会長
高須賀 國雄さん

元気で、ふれあいある町内会

センチュリーハイム第三町内会

平岸7条14丁目2-12 / 50世帯

昭和57年にできたマンションなので、住んでいる方の年齢もだいぶあがってきまね。住人の入れ替わりはありますが、小さな子どもがいる世帯が少なくなりました。うちの町内会はどこからかといえば高齢者に少しでも喜んでもらえる活動にシフトしてはならないだろうなと考えています。

町内会のたいせつな目的の一つは、弱者への支援・配慮、助け合いではないかと思うんです。一方的にしてあげるとい意味でなく、「何かあったらお願いね」と、お互いに言える関係づくりでしょうか。ただ最近では個人情報保護の問題もあって、簡単には相手のことを知ってゆけない。悩ましい問題ですね。昨秋敬老のお祝いを70歳以上の方全員にお届けする事業がありまして、私も直接お会いして言葉を交わしたり、ポストにお届けしたりしたのです。このことで私自身が、相手とやりとりできてほっとしたと言いますか、わずかですがどんな方なのかわかってくる感じがしたんです。

町内会の活動にはほかに、アサヒビール園での会員親睦会、敷地内花壇や道路の植樹ますの花植え、清掃作業などがあります。会費を払っていても事業になかなか参加できない人のなかには見返りがないと思う方もいるようです。みなさんに何かしら還元できることはないかと思っています。例えばマンションとしての災害時の備えや、感染症予防のためのマスク配布などができないかなと。

戸数の少ないマンションなので管理組合と町内会の役員を、特定の方に輪番で担っていただけてきました。会長になったばかりの私ですが、同じマンションに暮らしていても出会うことも少なくなっている現状で、あらためて顔の見えるおつきあいをだいたい活動したいと思っています。交流を望まない方に踏み込んで不愉快な思いをさせることはあってはならないですが、いまの時代だからこそ配慮あるつながりがたいせつなんじゃないでしょうか。



会長
水野 四男さん

子どもたちから元気をもらおう

平岸こぶし町内会

平岸5条12丁目1-1、1-2/118世帯

「エメラルドグリーン・ヒルズ平岸」というマンションの町内会です。管理組合とは別に、住民が互いに気持ちよく過ごすための親睦を目的に町内会をつくり活動しています。平岸高台公園につながる緑が目の前に広がる場所にあつて、札幌の街が遠く見渡せる良いところだよ。

マンションができて30年以上になるから、当初から町内会を引っ張ってきた世代もいい年齢になってきた(笑)。そろそろ若い世代が遠慮せず町内会で活躍してもらいたいけれど、仕事をしていたら実際にはなかなかむずかしいよね。うちは会長もまだ現役で動いているんだよ。だから「私ができることはするよ」と、副会長として手伝っている。役員それぞれができる範囲で、分担し協力して動いているんです。

子どもたちをたいせつにすることが、うちの町内会の特長だね。子どもも楽しく町内会行事に参加できることを一番考えているんですよ。子どもが喜んで参加すると、親がいっしょについてきてくれる。人が集まるでしょう？ 平岸はず山公園で毎年行ってきた「子ども花火大会」では、子どもたちキヤーキヤー言っ楽しんでるんだ。親子連れが賑わうようすと、企画した甲斐があつたなと嬉しいね。夏のラジオ体操だつて、子どもが張り切って参加すると、大人が付き添って出てくれる。そのうちに、若い親たちが町内会をなんとなく気にかけることにつながればいいなと期待しているんです。

人と人のつきあいの仲立ち、橋渡しの場が町内会なんだと思うの。機会の場って言うのかな？ 人の関わりつてありがたいものだし、どんな人にもだいじだと思つてから、子どもや若い人たちにもそのことを町内会のなかでなんとなく感じてほしいなつていうのがあるね。

今後は近隣の町内会ともつ連携してゆきたいな。うちはマンションだからなおさらそう感じるよ。町内会どうしが刺激あつて良い活動をすれば、まち全体がもつと良くなるね。

副会長
大迫 隆志さん



親睦と安心・安全な環境づくりに努める

ヒルタウン平岸町内会

平岸5条10丁目7-2~5/160世帯

うちは築35年になるマンションの町内会です。バス停に近く交通の便がよいのと、豊平区役所に隣接し利便性が高いからか、転出があつてもすぐに新しい人が入居して幅広い世代がいるよ。

マンションつて、いったんドアの中に入つてしまうと、同じ階でもどんな人が住んでいるのかわからないものではないでしょうか？ なにしろ出入口だけでも12あるから、何もしないと顔を合わすことなく済んでしまう人もいる。だからこそコミュニケーションが必要。町内会は、住民の親睦と意思疎通が目的という点で管理組合とはまったく違うし、欠かせないたいせつな会だと思っています。

仲間意識が強いところがうちの町内会のいいところじゃないかな。役員が毎年趣向を凝らし、四季折々に行事を行っていることの、積み重ねだと思うよ。こいのぼりをあげたり、雛人形を飾ったり、もちつきやクリスマス会をして。大人向けには麻雀やパークゴルフ会など。敷地内のさくらんぼをみんなで収穫したり、夏祭りをして盛りだくさんだよ。楽しみにしている仲間がいるのが励みだね。広報紙をこまめに発行して、活動の発信にも力を入れています。役員のおかげですね。

平成30年の胆振東部地震のときにマンションは断水して、有志が上層階の人に水を運搬したの。私も何往復もして体力的にはキツかつたけれどね(笑)。地震をきっかけに毎年有志を募り「お助け隊」をつくっています。災害に備えた水の運搬訓練や、高齢者のための冬のごみ出しお手伝い等をする。中・高校生や20代、30代の人も入つてくれることがありますよ。若い人の参加はすこいことですよ。

未加入のかたが町内会に関心をもつて、できれば入つてほしいなと思うけれど、考え方もあるから無理強いはいできないよね。ただ何かあつたときに助け合えるのも、ふだんのつきあいの力つて大きいから。何気なく顔が合つて親しみが感じられる活動を続けることで、いつか知つてほしいと思つているんです。

会長
樋口 正幸さん



心のつながりをたいせつに、

健康で、明るく、住みよい町内会

平岸公園町内会

平岸6条10丁目1-58、1-59/113世帯

うちの町内会はなり立ちが変わつているんだよ。公園つてそもそも賃貸住宅だから、住宅管理に関することは住宅公団(現在はUR都市機構)や管理人に一切を任せてたつてよかつたんだよ。よその公園では町内会なんてやっていないと聞くよ。入居が始まった昭和59年当初、車をもつている人が多くて駐車場の場所を巡るトラブルがたびたび起こり、それなら自分たちで管理しようつてなつたのが町内会の始まりなんだ。駐車場をつくり直すところから取り組んだ。次に取り組んだのは、駐車場とその横の通路の除雪。もともと住宅公団が通路の除雪をしていてくれたんだけど、我々が駐車場を整理したときに通路も駐車スペースに利用したことで除雪ができなくなつちゃつて。それなら会費を集め除雪車をリースして、自前で除雪しようつて決めたんだ。現在も11月~4月のあいだ町内の人がやっている。結局は努力がいることを始めたわけだから、我慢すべきが無駄だったのか……(笑)。でも当時はとにかくみんなやる気があつたんだ。

いま入居している人も高齢化しているし、入つてくる人にも自分たちが現状を変えようつて威勢のいい人はあんまりいない。町内会の新陳代謝がむずかしいね。結局は現状維持でつて話になる。活動としては「町内懇親会」、「朋友会」という65歳以上を対象としたお楽しみ会や見学会などをやっているよ。豊平区役所の裏手に公園の庭があつて、そこで小さな「花火大会」をして交流もしています。来る子どもも10人いるかなあ。大人のほうが多くなつて寂しいなあ。

これからの町内会をどうつてゆくか。もともと車の問題さえなければ町内会はなかつたのかもしれないんだからね。でも、しなくてもいいことをやつたとは思わないんだよ。自分たちで立ち上げ活動してきたことで、全世帯加入し、まよりの良い関係ができていたんだ。気かけ世話を焼き合う関係も育つている。やっぱり町内会がなくなるなんてダメだわ。

会長
橋本 正勝さん



連帯感の高揚・親睦

リーベスト南平岸町内会

平岸4条16丁目5-1/181世帯

地下鉄南平岸駅からほど近く、地下鉄のシェルターが見える場所にあるのですが、周りに緑が多いためか静かで落ち着いたところですよ。住民どうしあいさつがあつて、安心して暮らせるマンション町内会です。

マンションのメンテナンスや環境整備を扱う管理組合とは別に、町内会は住民どうしの親睦を目的に活動をしています。町内会役員は14名で、2年ごとに交代するルールです。2年目の役員が、入れ替わつた半数の新しい役員といっしょに活動しながら引き継いでいきます。令和2年度は新型コロナウイルスの流行で町内会の行事をほぼ中止にしたんです。私にとっては役員一年目だったもので、ほとんど町内会活動を体験できませんでした。感染症流行の影響で、来年以降の活動がどこまでできるか……、悩ましいですね。いつもどおりの予定が組めるのか、会員のみなさんと相談して決めることになります。私としては、実施できる事業があれば、みなさんが喜んでくれる取り組みを見つけれたらいいなと思っています。

コロナウィルス流行の前は、マンション内の集会所で「もちつき会」や「ハーモニカの演奏会」などを開催して、たくさんの人に喜んでもらいました。もちつきはちゃんとして白でつくんですよ。子どもたちには貴重な体験で、親子で60名ほど参加がありましたね。ジャスマックプラザで行つた懇親会には50名ほどが参加しましたね。それからマンション駐車場の上が、植え込みのある広場・遊歩道になっているんですよ。「空中庭園」つていうちょっと洒落た名前なんです(笑)。ラジオ体操を行つて交流の場になっています。

平成10年にマンションができて23年が経過し、子どもがなんとなく少なくなつてきたかなというかんじがしますね。胆振東部地震では断水も経験し、今後は住民の安否確認や高齢化対応が私たちの課題になってくるんでしょうね。

副会長
那須 浩さん

